

# 木曾

## 環境整備や地域活性化



中学生に自分たちの研究テーマをスライド写真などで紹介する高校生ら。南木曾町の南木曾中学校で

南木曾町の南木曾中学校で22日、蘇南高校（同町）の総合発表を聞く会が開かれた。同中学の全校生徒約100人は、先輩たちの研究発表に興味を持ち、耳を傾けた。  
(桜井祐二)

### 蘇南高生の研究 南木曾中で発表

#### 耳傾ける生徒たち

だ知識や技術を生かし、学校に残せるものが作れてよかった」と締めくくった。

地域活性化では、末松天樹君や新谷泰基君ら五人が、町内で栽培されているお茶を使ったクッキーなどを考案し、道の駅で販売した経験をスライド写真や動画で紹介。「商品開発の大変さが分かった」「地域を活性化するには、活動を継続していかなければならない」と経験を踏まえて語った。

蘇南高では、三年生の「環境整備事業」とが週二時間の「総合的「地域活性化」の二格な学習」の授業を使うグループが発表した。それぞれに「環境整備事業では、取り組み、十八日に同広田賢治君が発表。校庭を整備するレーキを修理したり、外灯を設置する作業をスライドで十一グループが成果を発表した。」  
今回の中学校での聞き取りは、中学生向き写真で紹介し、「学ん

発表後に広田君は「自分の発表で、中学

生が蘇南高へ進学を決

めてくれるとうれし

い」と期待。中学二年

の大家文哉君は「南木

曾町のことを調べてい

てすごいと思った。高

校に進んだらやってみ

たい」と話していた。